



## ごあいさつ

医療連携福祉センター長 成松 英智



昨年度から医療連携福祉センター長を拝命しております高度救命救急センターの成松です。よろしくお願いたします。

昨年の16号のあいさつで、COVID-19の反復流行が医療・社会システムを混乱させ、病院間医療連携にも大きな影響を及ぼしていることを述べさせていただきました。あれから1年が経過し、医療・介護機関に係る方々の感染に対する知識の向上と対策の強化などの努力により、危機的状況に近づきつつも、何とか乗り切ることができております。ですが、医療・介護に関わる皆様の疲労は蓄積され、各医療機関の体制も変化せざるを得ない状況になっています。感染者が増加している中、第8波を乗り切るためには、さらに困難な状況と立ち向かっていかねばなりません。災害的状況下で患者さんへ必要かつ適切な医療を提供し続けてゆくために、それぞれの地域の中で協力関係が築かれていることと推測します。しかし、今回のように広域で災害的状況が継続する場合は、北海道全体として医療を考え、協力しあえる体制を作る必要が生じております。札幌医科大学附属病院は、大学病院かつ特定機能病院としての使命を果たしつつ、基幹災害拠点病院として、引き続きこの災害的状況下において、皆様とともに北海道の地域医療を担ってまいります。これからも、皆様との強固な連携の構築・維持にむけて御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 在宅看護専門看護師（在宅看護CNS）の紹介

医療連携福祉センター 退院支援係 奥山 亜由子

2021年に  
認定され  
ました！



### ●在宅看護専門看護師（以下、在宅看護CNS）とはどのような看護師ですか？

私は退院調整看護師として転院や在宅調整を主に行っています。在宅看護CNSとして、患者さんが住み慣れた場所で家族や仲間、自分が大切にしている存在に囲まれて過ごすことを選択できるように、院内・院外の多職種と連携し、患者さんの望んだ人生、価値観が継続して大切にされるよう切れ目なく繋いでいく役割を担いたいと考えています。

転院でも、在宅でも、患者さんやご家族の大切な時間、人生において、一緒に幸せな時間を創り上げることに真摯に、温かく向き合ってくれる方々にお繋ぎする。そのためには自らが物事に誠実に向き合い、感性豊かで、信頼される存在にならなくてはならないと常に心に留めています。

### ●在宅看護CNSを目指そうと思った動機は何ですか？

退院調整看護師として、終末期がん患者さんが当院での治療後、専門的緩和ケアへ医療移行する調整をしています。初めて在宅緩和ケアの調整をしたケースは、70代女性のMさんでした。大腸がんで入退院を繰り返しながら化学療法を行っていましたが、治療効果がなくなり、在宅緩和ケアを選択しました。院内スタッフと在宅支援チーム（訪問診療、訪問看護、ケアマネなど）と一丸となって支援・調整を行い、愛猫と過ごす時間、足しげく通ってくれる弟さん夫婦、自宅に来てくれる友人たちが協力してくれました。私が在宅支援チームの皆さんと自宅訪問に行くと、Mさんは目を丸くして驚いていました。「奥山さん、来てくれたの！わぁ嬉しい！あのね、猫ちゃんは私の上に乗って来て重いけど、嬉しい。家はいいよ。やっぱり家を選んで良かった。」と、Mさんは美しく優しい表情で教えてくれました。Mさんは弟さん夫婦と愛猫に見守られ、大好きな自宅で最期を迎えました。Mさんにご家族の思いを叶えることができました。Mさんのように、希望する誰もが住み慣れた場所で、幸せな時間を過ごしてほしいと強く思いました。人生、しかも限られた貴重な時間に関わらせてもらう看護師として責任を感じました。患者さんやご家族との出会いがきっかけとなり、豊かな人間性を培い、患者さんやご家族にとって最善の支援ができる視点を兼ね備えた在宅看護CNSを目指したいと強く思いました。

### ●大学院生活はどうでしたか？苦勞したことなど

正職員として働きながら、2年間大学院で学ばせてもらい、無事に修了できたことは、職場の上司や仲間、学校の先生、家族など周りの皆さんのお蔭だと心から思っています。平日は仕事と講義、休日はすべて大学院の資料作り、課題、テスト対策など、休みが来るのが怖い…と初めて感じました。仕事への責任と、周囲への期待に応えなくては！と力みすぎて、緊張のあまり貧血を起こし、真っ青な顔で講義に出席したこともありました。CNS必須の3科目は1回でクリアできず、2年間学び、しっかり再試まで受けました。できない自分と否応

なく向き合うので、ストレスから不整脈を起こし、自病院でアブレーション入院。自病院スタッフに患者として看護をしてもらい「うちのスタッフはやはり優しくて、頼りになるな」と心が震える経験もしました。快く送り出し、支え、応援してくれる大好きな人たちのために、いつか恩返しができるよう、辛くても、眠くても、がんばろうと思いつつ日々過ごしていました。大学院生活を通して、いかに自分が周りに支えられていたかを実感しました。何とか苦しみながらも進み続けた大学院生活でしたが、そこでの出会いや経験が人生を変えた、貴重な2年間だったと思っています。



### ●一番の学びは何ですか？

「情緒的な傾向が強いので、論理的思考を学んでおいで」と大学院に送り出してもらいましたが、修了後も情緒的傾向が強い気がしているので、論理的思考を磨くことが課題です。在宅看護CNSとして学んだことはたくさんあります。患者さんとご家族のために、責任と誠意をもってやり抜く気概を持つこと。どんなことが起きても動じない強さと冷静な判断力を持つこと。俯瞰して物事を捉える視点を持ち、関わりを通して相手の力を引き出す方法を追及し続けることなど。論理的思考、客観的思考、専門的な治療や病態生理、コミュニケーションスキルは今後も学び続けていきたいです。大学院での一番の学びは、多くの時間と労力を傾けることを惜しまず、学び続け、高度実践に繋げていく姿勢だと思っています。

### ●今後札医大病院でどのような活動をされるのですか？

がん患者さんとご家族が専門的緩和ケアを選択する時、患者さんとご家族の思いを大切にしながらベストなタイミングで医療移行ができるような支援体制をつくりたい。大学病院から見放されるのではなく、丁寧に、大切に関わってくれる人や場所に繋がっていくことが患者さんとご家族に伝わる支援体制を構築していきたいです。患者さんが希望する場所で過ごすことができるよう、道内、道外を問わず、地域連携のネットワーク構築がしたい。お互いの顔や取り組み、人柄までもが見えるようなネットワークを創ることを目指したいです。

### ●在宅支援チームの皆さまへメッセージをお願いします。

患者さんやご家族の気持ちを第一に考え、どんな時も快く、「いつでもお家に帰っておいで」と言ってくれる心強い応援団でいてくれることが嬉しく有り難いです。皆さまの真摯で温かなお人柄に触れ、在宅での丁寧な関わりで幸せに過ごすことができている患者さんやご家族の時間を、当院スタッフとも共有し、大切に引き継がれた命が輝いていることを、次の医療・看護・支援の力に変えていきたいと思えます。在宅支援チームの皆さま、いつも心から感謝しております。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします！



奥山家の癒し担当 まめこ

## トピックス

本院の最新の情報をお知らせいたします。

### 【新患外来診療予約申込方法の一部改定について】

令和4年9月1日より、本院では新患外来診療予約方法を一部変更いたしました。受診予約をされる医療機関と患者さんに、予約票を早くお渡しできるように、申込から予約日回答までの時間が最小限となるよう努力してまいります。

以前の申込方法から大きな変更点が3点ございます。

1. 新患外来診療予約申込書が2枚組となります
2. 連携予約は新患担当医の診療予約を行います（申込書2枚目を参照ください）
3. 予約申込開始日が2診療日後からとなります

医療連携予約は、一部診療科は対象外となります。診療科の曜日変更などに応じて、申込書は定期的に更新する予定となっておりますので、年度変わりなどにホームページをご確認ください。予約に関する詳細につきましては、下記病院ホームページをご参照ください。

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/medical/mumhv6000002zmz.html>



### 【病院内ATM設置変更のお知らせ】

令和4年11月より、ゆうちょ銀行のATMが撤去されました。

撤去の掲示期間が短かったため、御存知ではない患者さんも多いかと思えます。

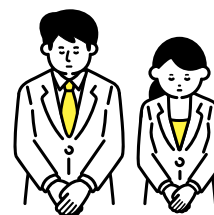
現在本院に設置されているATMは、北洋銀行、北海道銀行、労働金庫のみとなります。

ファミリーマート内には、2022年12月現在コンビニATMは設置されておりません。

### 【病院駐車場有料化について】

令和4年12月1日より、駐車場利用における長時間の入庫待ちや周辺道路渋滞の解消、目的外利用の防止、利用者負担の公平性の確保などを図るため、病院駐車場を有料化することとなりました。受診の送迎などで、駐車場をご利用される場合は、病院ホームページで利用方法を事前にご確認いただけますようお願いいたします。

よろしく申し上げます



### 【駐車場利用料金】

対象者	利用時間	利用料金（税込）
外来受診者 ※注1	当日1回	400円
付添者、入退院送迎等 ※注1		
面会、お見舞い、一般利用者	20分ごと	300円
夜間料金（東駐車場のみ） ※20:00～翌日7:00	60分ごと	300円
最大料金（東駐車場のみ） ※当日24:00まで	当日1回	平日 2,400円 土日祝日 900円

※注1：身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の所持者は免除

## インフォメーション

医療連携福祉センターでは、特定機能病院として、高度急性期医療と良質で満足度の高い医療サービスの提供のために、地域の医療機関等との連携体制の推進に努めています。より良い連携を今後も推進していくために、在宅ケア機関からお問い合わせが多い業務について、具体的にご案内いたします。

### ○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが当院に入院したとき

- 病状の問い合わせは入院病棟の看護師にお問い合わせください。(病棟がわからない場合は退院支援係)
- 看護サマリー等は入院連携担当者へお電話の上、FAXしていただければ病棟にお届けします。

医療連携係入院連携 電話番号 011-611-2111 (内線51190)  
入院連携専用FAX 011-688-9609 (2021年4月より専用)

### ○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが外来通院中のとき

- 通院中の患者さんについての報告など、情報提供は書面にして「**医事経営課 文書受付窓口**」まで郵送してください。受診日が近いなど急ぐ場合は、事前に退院支援係へ電話連絡をしてから、医療連携福祉センターにFAXしていただければ外来にお届けします。

※訪問看護指示書の依頼や報告書も「**医事経営課 文書受付窓口**」でお受けしています。

- 現在継続して受診中の患者さんの受診日の変更や病状についてのご相談は、各外来看護師に連絡してください(午前中は混み合っているため**14時～15時30分**にお願いします)
- 患者さんの中には、いくつも病院にかかっているので札幌医大病院にまとめたいという要望もあるようですが、高度急性期医療機関であることをご理解いただき、まずはかかりつけ医にご相談いただきますようご協力お願いします。

※退院調整看護師が関わった患者さんに関するお問い合わせは、各退院調整看護師にご連絡ください。

退院支援係 電話番号 011-611-2111 (内線31930、51260、51270)

### ○文書を依頼するとき

- 患者さんが、通所リハビリに通いたい、訪問入浴サービスを導入したい等で、医師の診療情報提供書が必要なときは、患者さんの同意が確認できる依頼書により、診療情報提供書の提供に応じています(有料)。
- 依頼する場合は、専用書式「診療情報提供依頼書」に内容記載し、必要書類添付のうえ、「**医事経営課 文書受付窓口**」あてに郵送をお願いします。専用書式は、医療連携福祉センターWebページの「保健・福祉関係機関の方へ」からダウンロードできます。診療情報提供料については、患者さんあてに納入通知書を郵送しますので、届きましたらお近くの金融機関でお支払いください。

注1 施設の所定様式等がありましたら同封してください。

注2 FAX、メールでの受け付けは行っておりません。

注3 直接、医師への依頼はできません。

注4 患者さんの「生年月日」、「必要な理由及び情報提供必要事項等」の必要事項の記載漏れがないようお願いします。

注5 切手を貼付した返信用封筒の同封をお願いします。

詳しくは文書依頼のWebページをご覧ください。

URL <https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/b1h640000000958.html>

医事経営課 文書受付窓口 電話番号 011-611-2111 (内線32040)

## ○相談窓口

患者さん、ご家族の医療福祉相談については、医療連携福祉センター相談系のMSWが対応しています。また、当院は、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院（エイズ治療ブロック拠点病院）の指定を受けており、当院の患者さんに限らず広く次のご相談をお受けしております。（予約制）

### ●がん相談

がんの患者さんやご家族からの、療養や生活に関する心配ごと、社会制度の活用などについて、個別の相談に応じております。

◇受付電話・受付時間…011-688-9506 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:30」

### ●がん相談サロン

大学寄附講座「アイン・ニトリ緩和医療学推進講座」と連携して、がん患者さんやご家族を対象とした交流会、学習会などを開催しております。開催日時のお問い合わせは下記サロン事務局にお願いします。

◇受付電話・受付時間…011-616-0234 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:00」

### ●肝疾患センター

肝疾患についての個別相談のほか、多くの方に肝疾患を理解してもらうための「市民公開講座」等を開催しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-5700 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:00」

### ●HIV外来の診療予約に伴う相談

HIV/AIDS診療を希望される方（初診の方）は、予め電話により受診日時の予約が必要です。HIVの知識を持った看護師が対応し、「検査を受けたい」、「検査で陽性といわれた」などの相談も含めて対応しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-2111（内科外来 内線32770）

月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～16:00」



詳しくは、札幌医科大学附属病院医療連携福祉センターのWebページをご覧ください。

URL <https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/>

## 編集後記

今回在宅看護CNSの紹介のインタビュー記事を担当しました。奥山看護師が仕事をしながら大学院に通い、課題や試験に必死になって取り組んでいるのを隣の席で見ました。土日も休まず課題に取り組み、睡眠時間を削って、時には職場でも泣きながら懸命に取り組んでいました。卒業が決まったと聞いた時は自分のことのように嬉しかったです。社会人になってから学びを続けるということは非常に大変で、勉強時間も十分に取れないこと、また、集中力、視力、聴力が学生時代よりも衰えた実感します。そして日頃の業務の疲れで、文字を追うだけで睡魔が襲います。しかし、学生と違い、社会人は目標（目的）がはっきりしているため、学びへの意欲が高いと思います。また、学生の時は教科書通りの浅い理解しかできなかったことが、社会人では経験と重ねて深く理解できるようになります。奥山さんも正にそうで、大学院で学んだ多くのことを現場で発揮しています。そんな奥山さんの姿を心に刻み、私自身もソーシャルワーカーの勉強会を仲間と一緒に頑張って取り組もうと思いました。（退院支援係 佐賀）

## 札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター

相談係	内線31840、31890、31900、31910、31920、31960、38840
医療連携係	内線51210、51230、31320 〈入院連携担当〉内線51190
退院支援係	内線31930、51260、51270、51250
入院支援係	内線38830

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目  
TEL: 011-611-2111 (代表) FAX: 011-621-2233  
URL <https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/>